

自信という鍵で成功の扉を開けよう

みなさん、こんにちは。IMAP 英語プログラムの修士二年生、ラムインと申します。

私は修士の学歴を取るために、昇進のオファーを放棄して、仕事をやめて、日本に来ました。友達にあなたはばかではないのと言われました。目の前の利益ではなく、私が日本に留学の経験はきっと将来の自分に役に立つことを信じています。

でも、日本に来る時、私は日本語を挨拶程度の言葉しか知らなかったです。日常生活で不便だと思いました。日本語を勉強はしてるけど、文法を間違えるのが怖い、恥ずかしい。だから、いつも英語で話します。それは日本人と同じ、英語で話すのがあまり得意ではないから、英語で問い掛けても、いつも日本語で答えます。これは自分に自信がないことの表れでしょう。

ところで、皆さんはこんな言葉を聞いたことがありますか。「失敗は成功のもとです」。子供からこの言葉を聞いて、すでに、今では私のモットーになりました。失敗することは怖くない、怖いのは前を向いて進む自信がなくなることです。

自信は「怖い、恥ずかしい」ことによりにどんどん消えてなくなって、自分の能力も疑ってしまいます。再び傷くのを恐れて、問題に向き合いたくなくなります。問題を解決よりもむしろ逃げたくなります。しかし、逃げても何も変わらないですよ。だんだん人に弱くなって、明るさを失い、人生を楽しめなくなります。だから、自信を持ち続けるのは大切なことです。

幸運と成功は自分の弱さをみとめて、いかなる困難にも立ち向かっていく人に同行します。成功は口先だけのうまい言葉が頼りだけではなく、投機心だけではありません。自信と努力は成功の鍵です。

今、皆と一緒に失敗が怖くて、恥を恐れる私だけど、自分の弱さを克服して、勝ち負けを気にしないで、今回のスピーチ大会を参加しています。自分の得意ではない言葉で皆の前で講演し、それはわたしの自信の表れです。

自信がない時はどうすればいいでしょうか。1つのコツを教えてください。鏡に向いて、「わたしは世界で一番可愛い/かっこいい人だ」と言ってみましょう。自信があるからこそ美しい、自信があるからこそ成功できます。

以上です。ご清聴ありがとうございました。